熊谷市
記者クラブ取材情報

令和　6年　6月27日発表
担当課:商業観光課

タイトル

令和6年熊谷うちわ祭について

1．日時　令和　６年　７月２０日（土）　～　７月２２日（月）

2．場所　熊谷市街地、お祭り広場ほか

3．事業概要

八坂神社大祭「熊谷うちわ祭」は毎年７月２０日から２２日に開催される、江戸時代から続く八坂神社の祭礼です。“関東一の祇園”と称され、例年、３日間の開催中に大勢の観光客が訪れる、本市を代表するお祭りです。
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和元年の通常開催を最後に、諸行事の自粛、規模縮小での開催となっておりましたが、令和６年の熊谷うちわ祭につきましては、コロナ禍前のスタイルに戻す形での実施を予定しています。

4．特徴やPRポイント

本年（令和６年）のうちわ祭につきましては、２０日の熊谷駅正面口での初叩合いをはじめ、２１日、２２日には国道１７号を含めた市街地で交通規制を実施し、１２台の山車・屋台が勇壮な熊谷囃子を響かせながら巡行するなど、コロナ禍前と同じ形での開催を予定しています。
魁としての年番にふさわしい形で、『継往開来』の精神のもと「熊谷うちわ祭」の醍醐味を味わっていただきますよう御案内いたします。

【主な実施概要】
・７月２０日（土）
　渡御発輿祭、渡御着輿祭、初叩き合いなど
・７月２１日（日）
　巡行祭など
・７月２２日（月）
　行宮祭、曳っ合せ叩き合い、年番送りなど

【その他】
・お祭り広場に行宮が設置され、神事が執り行われます。

5．その他

【主催者】
熊谷うちわ祭令和６年年番町　第壱本町区　大総代　萩原 直幸（はぎわら なおゆき）

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）　※市HPの掲載（ 有 ・ 無 ）

担当者　産業振興部商業観光課　贄田、青木
連絡先　048-524-1111（内線312）



無断転載禁止

令和６年　年番町　第壱本町区









関東一の祇園　熊谷うちわ祭

うちわ祭は、当地に鎮座する八坂神社のご祭礼です。八坂神社は、文禄年間（一五九二～）に京都八坂神社を勧請し、現在鎌倉町にある愛宕神社に合祀されたものであります。

熊谷の夏祭りの起源を示す最初の記録は、江戸中期の寛延三年（一七五〇）に、当時各寺社ごとに行っていた祭りを町内統一の祭りにする上申書でありました。町役人の許可により、以来町内全体の祭りとなり、現在の祭りの形態が作られました。

その頃の祭事係は、祭りの期間一躍町役人と同じ力を持ち、祭りのすべてを取り仕切る祭番となり、形態とともに権限も脈々と受け継がれております。

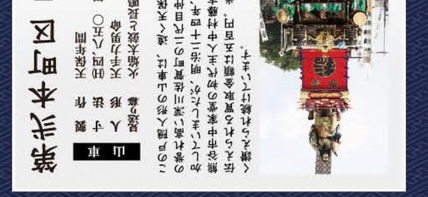
天保年間（一八三〇～）は祭りの中興の時代といわれ、重さ二〇〇貫の神輿が新調され、祭りの原点ともいえる全町合同の神輿渡御が始まりました。

またこの頃より、町内各店が祭りの期間中、買物客に赤飯をふるまった事から、「熊谷の赤飯ふるまい」として評判となり、祭りの名物となりました。

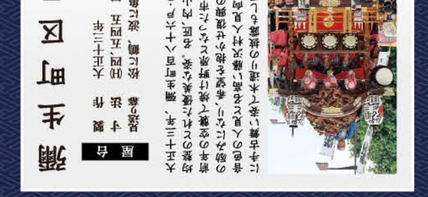
「うちわ祭」の名称の由来は、夏の祭礼で配布されていたうちわを原点として、明治三十五年頃より、料亭「泉州楼」の主人がうちわを配付したことにあると語り継がれています。東京での修行中に、うちわが飛び交うことで知られていた「天王祭」からの影響を受けた主人は、老舗「伊場仙」から渋うちわを買い入れ、熊谷の祭礼で配り始めたことが発端となっています。この「うちわ」の登場が好評を博し、その後に各商店でも屋号などを記したうちわを出したため、買い物は「熊谷うちわ祭」の日といわれるようになりました。

時を同じくして絹産業などの発展などにより町はにぎわい、各町競って山車・屋台を購入し、神輿渡御と山車・屋台巡行による現在のうちわ祭の原型はこの時に作られ、今日まで続いております。

このように「町民一体として始まった伝統」「江戸からの祭文化の継承」「自ら熱意で祭をつくり上げてきた熊谷人の心意気」が融合し、今や関東一の祇園として発展しております。













継往開来

令和六年　年番町　第壱本町区

大総代　萩原直幸

令和二年から暫延したコロナ禍は二年間の神事のみの催行、その後の二年間はコンパクト化縮小化された形での催行がなされてきました。この四年間の年番町の皆様方の並々ならぬご苦労ご努力には改めて感謝と敬意を申し上げます。

このような状況下、令和六年　年番町第壱本町区は魁を担っている町区として、この熊谷うちわ祭をどのように企画運営していくのか、熊谷市民の注目を集めていると自覚しております。

そこで、大きな方針として本年はコロナ禍前の熊谷うちわ祭のスタイルに戻すことを前提に企画運営させて頂きます。熊谷の活力の源と言われている熊谷うちわ祭を四年間のブランクをはねのけて完全復活させていく決意のもと第壱本町区一丸となって邁進したいと思います。

しかし、それは五年前の形をそのまま復活させるものであってはならないと考えております。魁としての年番に相応しい形での完全復活を目指していきたいと思います。五年前の形での熊谷うちわ祭には数々の懸解決事項が内蔵されていると思います。これらを一つ一つ丁寧に解決し、最低でも今後八年間無事故で盛大な熊谷うちわ祭が持続可能な形で開催できる形を示していきたいと思います。

『継往開来』（先人の事業を受け継ぎ、発展させながら未来を切り開く事）の精神のもと下記の重点項目を解決し、皆様方とともに明るく楽しい熊谷うちわ祭の実現に努めたいと思います。

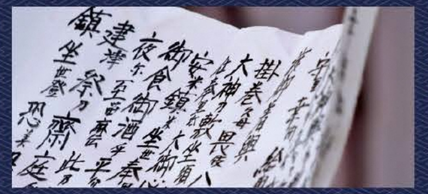
皆様方のご協力とお力添えを衷心よりお願い申し上げます。

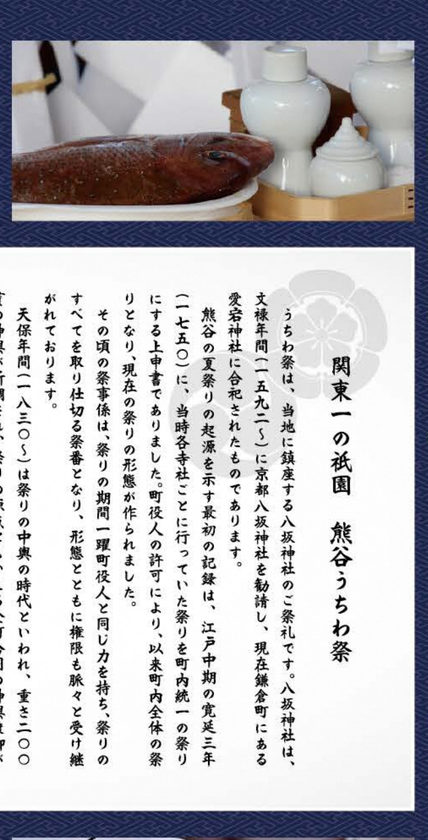
【重点事項】

熱中症予防と対策の徹底
雑踏警備の徹底
持続可能なうちわ祭りの運営方法の構築











荒川区

山車　製作　平成二十四年
　　寸法　九尺四寸
　　材質　木製一本
屋台　製作　平成二十四年
　　寸法　九尺
　　材質　木製一本
製作者　(株)　大坂屋
　　(有)　大坂屋
　　(株)　大坂屋
塗師　大坂屋

昭和二十二年製作の屋台が始まりと、平成二十四年、山車が完成しました。製作は「東京都無形民俗文化財」に指定されている大坂屋です。

大正十三年、関東大震災で壊滅的な被害を受けた浅草の町は、復興のシンボルとして「東京一の山車」を作ることを決意。総工費は当時の金額で二十万円（現在の価値で数十億円）という、まさに一世一代の大事業でした。

しかし、完成を目前にした昭和二十年、東京大空襲により、山車は焼失。戦後の混乱期、職人たちは焼け跡から金具を拾い集め、記憶を頼りに再建を誓いました。

現在の山車は、平成の職人たちが、昭和の先輩たちの魂を受け継いで作り上げたものです。

浜町

山車　製作　平成二十四年
　　寸法　四尺
　　材質　木製一本
屋台　製作　平成二十四年
　　寸法　九尺
　　材質　木製一本
製作者　(株)　大坂屋
　　(有)　大坂屋
　　(株)　大坂屋
塗師　大坂屋

昭和二十二年製作の屋台が始まりと、平成二十四年、山車が完成しました。製作は「東京都無形民俗文化財」に指定されている大坂屋です。

大正十三年、関東大震災で壊滅的な被害を受けた浅草の町は、復興のシンボルとして「東京一の山車」を作ることを決意。総工費は当時の金額で二十万円（現在の価値で数十億円）という、まさに一世一代の大事業でした。

しかし、完成を目前にした昭和二十年、東京大空襲により、山車は焼失。戦後の混乱期、職人たちは焼け跡から金具を拾い集め、記憶を頼りに再建を誓いました。

現在の山車は、平成の職人たちが、昭和の先輩たちの魂を受け継いで作り上げたものです。

石原区

屋台　製作　寸法　材質
　　(有)　昭和二年
　　(株)　九五〇
製作者　(株)　三一〇〇　(株)　大坂〇〇
　　鯛之助

昭和二十二年製作の屋台が始まりと、平成二十四年に山車が完成しました。製作は「東京都無形民俗文化財」に指定されている大坂屋です。

大正十三年、関東大震災で壊滅的な被害を受けた浅草の町は、復興のシンボルとして「東京一の山車」を作ることを決意。総工費は当時の金額で二十万円（現在の価値で数十億円）という、まさに一世一代の大事業でした。

しかし、完成を目前にした昭和二十年、東京大空襲により、山車は焼失。戦後の混乱期、職人たちは焼け跡から金具を拾い集め、記憶を頼りに再建を誓いました。

現在の山車は、平成の職人たちが、昭和の先輩たちの魂を受け継いで作り上げたものです。

本石区

屋台　製作　平成二年
　　寸法　昭和二年
　　材質　九五〇
製作者　(株)　三一〇〇　(株)　大坂〇〇
　　唐獅子牡丹子孫し図

昭和十年代には、町内の若い衆の中から神輿を練り歩いて飾りたいという声が上がりました。昭和二

❖ 7月20日(土) ❖

A 渡御祭
時間 午前6時
場所 本宮・市街地・行宮

渡御祭は、発輿祭・途上奉幣祭・着輿祭の三つの神事で構成され、愛宕八坂神社（本宮）から旧市街地八ヶ町を通り、途中の東西南北四ヶ所で地域を浄め、お祭り広場に設置された行宮まで神輿が巡幸します。
各町の若頭総勢百人が白丁をまとい行宮に向けて巡幸します。途中、各町が迎え太鼓で神輿を出迎えます。

A1 渡御発輿祭 時間 午前6時～ 場所 愛宕八坂神社（本宮）
A2 途上奉幣祭 時間 午前8時～ 場所 市街地一円（4ヶ所）
A3 渡御着輿祭 時間 午前10時～ 場所 行宮



B 初叩き合い
時間 午後6時30分
場所 JR熊谷駅北口

全町の山車・屋台は『初叩き合い』の行われる熊谷駅を目指し、星川通りに集結します。夕暮れ、提灯に火が灯された山車・屋台の前では各町の纏が振られ、年番町を先頭に星川通りから駅前通りを経由し、北口駅前広場へと移動します。熊谷駅を背に全町が横一列に整列し、勇壮なお囃子とともに『初叩き合い』が始まります。







ドローン飛行禁止　山車・屋台位置情報　park&ride

❖ 7月21日(日) ❖

C 巡行祭
時間 午後1時～
場所 国道17号周辺

午後一時より国道十七号線は、銀座から石原まで交通規制が敷かれ歩行者天国となり、山車・屋台は国道十七号線を西に巡行します。最西端に本石区・石原区の屋台が待機しており、十ヶ町を迎えます。本石区・石原区の二町も合流し十二ヶ町で御宮参りのため行宮へ向かいます。その後、国道十七号線を東へ巡行します。



D 叩き合い
時間 午後6時～
場所 国道17号周辺

夕暮れになり、停留していた全町の山車・屋台が動き始めます。
国道十七号線各所で、次々と叩き合いを繰り広げながら山車・屋台が合流し、八木橋百貨店前では全町揃って扇形となり叩き合いを行います。



◉清祓いの儀
巡行祭の始めに、巡行祭の無事安全なる執行を祈り、町内全域・巡行路・祭奉仕者・関係者、来場者などすべてをお祓いし清らかにする儀式です。





ドローン飛行禁止　山車・屋台位置情報　park&ride

❖ 7月22日(月) ❖

E 行宮祭
時間 午前9時～
場所 行宮

山車・屋台の巡行や勇壮な囃子のような華やかさはないが、祭りの本質で荘厳な神事の一つです。行宮に宮司、役員が集まり、神官の浄衣をまとった大総代が御霊の移された神輿を前に自ら祝詞を奏上、玉串を奉奠し神の加護を祈願します。

F 曳っ合せ叩き合い
時間 午後8時～
場所 お祭り広場

午後六時より国道十七号線は交通規制となり、各所で祭りの終わりを惜しむかのように多くの叩き合いが行われます。徐々に十二基の山車・屋台が最後の叩き合いの地であるお祭り広場周辺に集まってきます。市役所入口交差点で扇形に整列し叩き合いを行った後、お祭り広場の四方に移動し、「年番送り」と「曳っ合せ叩き合い」を待ちます。

◉年番送り
お祭り広場の四方を山車・屋台が囲み、多くの観客に見守られながら年番町、迎え年番町がステージに上がります。
前年大総代による口上の後「年番札」が送り渡されます。

G 還御祭
時間 午後11時30分
場所 行宮



還御祭は、発輿祭と着輿祭の二つの神事で構成され、行宮から本宮まで神輿をおかえしするための巡幸です。日付も変わる深夜、再び関係者が行宮に集まり「発輿祭」が執り行われ、午前〇時、熊谷祇園会員約三百人によって、神輿が本宮まで担がれます。
本宮にて最後の神事「着輿祭」が執り行われ、三日間におよぶ祭のすべての祭礼行事が終了します。

ドローン飛行禁止　山車・屋台位置情報　park&ride

Official Sponsors
伊藤園
一般社団法人 熊谷市医師会
一般社団法人 熊谷市歯科医師会 Kumagaya Dental Association
社会医療法人 熊谷総合病院
一般社団法人 熊谷薬剤師会
Coca-Cola BOTTLERS JAPAN INC.
まっすぐ、あなたへ。埼玉縣信用金庫
埼玉りそな銀行
SUNTORY
JFE 建材 株式会社 熊谷工場
J:COM
JTB 旅のそばに、いつも。
ALSOK
損害保険ジャパン株式会社
第一生命
大和証券 Daiwa Securities
秩父鉄道
DAY PARK デイパーク
東京海上日動
日本生命
熊谷スポーツ文化公園 ラグビー場 くまがやドーム グループ
JR東日本
ファイブイズホーム
富士住建
FUJITSU 富士通フロンテック株式会社
Belc ベルク
HONDA Honda Cars 埼玉北
未来が見える世界をつくる。マイナビ 5α
MITO 水戸証券
武蔵野銀行
武蔵コーポレーション
立正大学 「モラリスト×エキスパート」を育む。